



J R 連 合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を！！

2022 年度

No. 61

2022年12月19日

日本鉄道労働組合連合会

3産別共同行動【2022年秋冬・第3弾】～航空連合・サービス連合と連携！～ 国民民主党への要請行動を展開！

12月15日、JR連合は航空連合およびサービス連合とともに展開している3産別共同行動として、国民民主党への要請行動を展開した。3産別からは各会長を含め計10名が参画し、各産業の現状や課題、必要とされる政策等を説明した。国民民主党からは「議員フォーラム」所属議員・秘書を含む計15名が出席した。

<要請行動に出席した「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」加入議員>
玉木雄一郎衆議院議員、榛葉賀津也参議院議員、浜野喜史参議院議員
古川元久衆議院議員、川合孝典参議院議員、西岡秀子参議院議員
伊藤孝恵参議院議員、田村まみ参議院議員、竹詰仁参議院議員（順不同）

冒頭、3産別よりJR連合・荻山市朗会長、航空連合・内藤晃会長、サービス連合・後藤常康会長が挨拶に立った。全国旅行支援制度や水際対策緩和等により、移動需要・人流が回復傾向にあるが、各産業のご利用状況は依然としてコロナ禍前の水準には及ばず、企業の経営体力が低下し長期債務が増大していること、回復には相当な期間を要すること、さらには離職増加や採用難により人財不足に陥っていることや、資金繰りに窮していること等、各産業の課題を述べた。そして、感染防止対策と経済・社会活動の安定的な両立（人流を止めない政策）や、息の長い支援の必要性を訴えた。



国民民主党からは、党代表の玉木雄一郎衆議院議員が挨拶に立ち、3産別の現況や中小企業の資金繰りの厳しさ、中長期の支援が必要であることに理解を示しつつ、「継続的な賃上げが必要であり、物価高騰への対処、価格転嫁を実現し、デフレマインドを変えていくべく、政労使が連携してそれぞれのやるべきことをする必要がある。将来見通しの立つような環境をつくるべく、政策実現に取り組む。」と述べた。

質疑では、ツイッター等でも話題に挙がっている空港の保安検査場における人手不足と航空保安（セキュリティ）の課題への対処、マスク着用をめぐるトラブルや、全国旅行支援制度の運用に係る課題等が挙がり、現状や取り組みについて意見を交わした。各産業を取り巻くフェーズが大きく変化中、3産別は今後もタイムリーに共同行動を展開し、産業の現状を訴え、必要とする政策の実現に向け取り組んでいく。

